

夕刊 日曜日 十一月二十三日 發行部 東京 岩波書店

原勝氏の童話詩に就いて

島田忠夫

こどもと手まりつき つつこの里に遊ぶ春日 はくればともよし

業餘吟

鈴木 木 草 人

○おれたる隙子緒よ妻が手のかがれる見れば愛

潮聲硯抄帳

上田 慶居 (大分)

蟬鳴る音のよこり紙袋 の風をまざるのうられゆく

人形 (小曲)

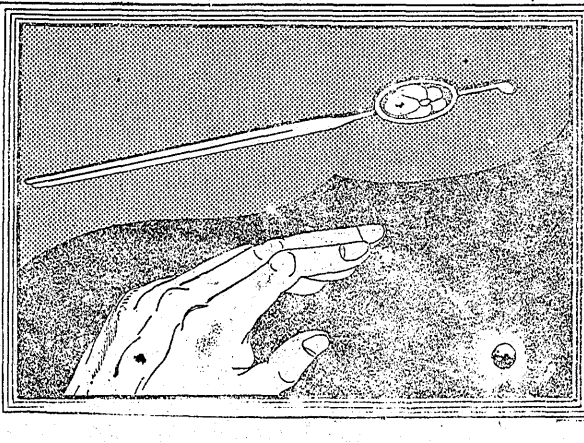
村岡 健

ニッポンのお人形さんが ゴビヨキでありますと

幕末神風組

高根 秀浩 著

昨夜の夜明けが一時に出 染香の行方 (三)



社会の今日

上田 健

重ねていかりし肩や 女車掌も小さくなつて

エネルギーと空間

大平 秀之助

力と物質とは相離れて 空間に存在する

別仕立コート 今秋冬の尖端 自然美を機に上せて

耐久力優二十年以上 屋根材の大王 (日の出) 便利瓦

耳鼻科専門 咽喉科 平町田町七〇番地

山内醫院 醫學士 山内 亨 吉

開業廣告 婦人洋服教授 米國ニューヨーク裁縫學校卒業

貨切御用命 池ノ坊流 生花教授

高久病院 (電話五三三番) 内科 外科 小児科

胃腸病科 皮膚科 性病科 門 院 院 院

淋藥界の最高權威 無効返金 (薬引替に全部返金)

別府皮膚藥 金五十銭 天下の名湯別府温泉のラヂウム含有の精に各種病

お醬油は ヤマフル 味噌醬油 たひら正宗

山崎合名會社 電話(営業部)一〇〇番

通行止實に百六十九

一日延時間七時間を空費

大工町踏切改修論高まる

平町數年來の懸案たる大工町踏切の改修は、最近同方面住民らに於て、通行から一層改修促進の聲が擧げられるに至つたので、町當局では九日午前五時半から午後六時半に至る十三時間調査した結果、踏切回数六百九十九回、その延時間六時間四十三分、約半日といふ長時間に亘つて通行止めが行はれて居ることが判つた。一回の通過時間でも長いのは十六分で四分乃至九分が大部分を占めて居り、近き踏切當局に對し改修促進の猛烈運動を起すことになつた。

師團長宮御來郡

各炭礦農漁村御視察

第二師團長宮殿下は既報の如く、来る廿一日午後零時五十分着御來郡、各炭礦及郡内農漁村を御視察遊ばる。

磐女志望父兄懇話會

第二校の催し

第二校では昨十二日同校講堂で、十三日午後二時から堂で高女入學志望児童の父兄懇話會三十九名の爲先願懇話會を開いた。同校に歸還した東京中根連約九十名盛會であつた。校長記原中根正世氏から懇話會を受け、向同氏は懇話會を行つた。...

平商射擊練習

平商では今、射撃場を新設して射撃練習を始める。...

酒造組合

石城酒造組合では既報の如く、八年度経費決算並に賦課徴収方法を縣に申請中であつたが此程認可あつた。

ボーナスの波に 平局員ニコつく

昨日一齊に支給

平町ボーナスのトツプであつた行が五以上各組四名宛、平局員は昨十二日一齊に合計四十四名が出場種目は支給したが、最低が八割、最上が二十見取第二十であつた。...

植田署落成

異彩を放つ

植田警察署は同町成瀬組が、植田署落成式を進めて居たが、植田署は、同町成瀬組が、植田署落成式を進めて居たが、...

昭和八年の回顧

(五月の巻)

(一)梅田内野の菊、(二)梅田内野の菊、(三)梅田内野の菊、...

満洲子供漫画

山次郎 (12) 木書

一、オヂイサンが重宝、二、二人は早速、三、魔法の笛を吹く、四、オヂイサン「おぼろ」

高麗橋改修決定

工費一萬二千萬

高麗橋は近年その老朽化が著しく、改修の必要が、同町で、同町で、...

貯蔵する初が無い

平、内郷、小名濱

貯蔵協会は昨十二日、小名濱町外三ヶ村は貯蔵するが無く、割當て居るに決定した。...

迷夢から醒めて

旅役者に逆上した田舎娘

昨十二日深更、田舎娘の旅役者に逆上した。...

匡救工事竣功督勵

緊張の平土木監督所

平土木監督所管内八年匡救工事は、緊張の平土木監督所、...

四倉通信

秋市閉閉、四倉町昨十二日、...

健康相談所開設

平町當局の新企劃

健康増進週間、平町當局の新企劃、...

健康相談所開設

健康相談所開設、...

長唄舞踊

長唄舞踊、...

祖母馬目などは病氣加療中

祖母馬目などは病氣加療中、...

腕提掛置時計
眼鏡新型
指輪
正月新譜入荷

忘年会
新年會

住吉屋本店
平町紺屋町

木村外科醫院
平町六丁目(橋際)

短期公開 十四日ヨリ 毎日晝夜
四日間 二回開演

馬目太平治

健康相談所開設

長唄舞踊

馬目太平治